

書籍のご紹介

【強毒性新型インフルエンザの脅威】

岡田晴恵 編/速水融・立川昭二・田代真人・岡田晴恵 著



発行所：株式会社 藤原書店

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町523

電話：03-5272-0301

F A X：03-5272-0450

定 価：本体1,900円（税別）

強毒性新型インフルエンザウイルスは呼吸器・消化器のみならず全身臓器に感染し、サイトカインストームを起こして、多臓器不全となり高い死亡率を招く恐ろしいウイルスです。驚くべき感染力、強力な病原性から、このウイルスはもはや「インフルエンザ」ではない、21世紀の黒死病（ペスト）であると、本書では警告しています。

本書は、この強毒性新型インフルエンザの恐ろしさ、リスクの大きさ、流行の可能性と現状、そして流行を未然に防ぎ、被害を最小にとどめる危険回避法について広範かつ詳細に解説しています。編者である岡田晴恵氏は『感染症とたたかう』『鳥インフルエンザの脅威』などの著者で、国立感染症研究所に所属して感染免疫学・ワクチン学を専門にされています。その岡田氏が、経済史・歴史人口学を専門とし『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』を著した速水融氏（慶應義塾大学名誉教授）、医療史を専門にされ『歴史紀行・死の風景』などの著書で有名な立川昭二氏（北里大学名誉教授）、本邦におけるインフルエンザウイルス研究の第一人者である田代真人氏（国立感染症研究所第3部部长）の3名とともに編集されたのが本書です。

本書の冒頭では、速水氏と立川氏の対談によるスペイン・インフルエンザの社会史、歴史的側面からの分析をもとに、新型インフルエンザの驚異的な被害予想が行われ、続いて岡田氏、田代氏による強毒性新型インフルエンザのウイルス学、医学的見地からのわかりやすい解説、さらには流行が起こった場合の疫学的考察が加えられています。そして最後に、これらのことから想定される最悪な状況を回避するために、行政および個人が何をすべきかについて述べられています。

さらに、不幸にして大流行が起きてしまった場合でも、10日間は外出せず生活するための「備蓄品リスト」が巻末に添付されており、感染拡大を最小限にとどめることに役立つと思われます。

本書はまさに強毒性新型インフルエンザの脅威を伝え、その対策の重要性を行政・個人に強く訴えとともに、家庭に1冊あれば、新型インフルエンザウイルスの知識を正しく知ることができ、その脅威から身を守る聖書と言っても過言ではありません。それ故に、医療およびその周辺業務に従事する者にとっては必読の書であると思われます。

モダンメディア編集人・柘植晴文